

疆域

宗谷は蝦夷地之極奥にて、三國通覽には、松前より四百里と記したり、其外松前人々に問にも、區なる答にて、貳百里或は貳百五十里などいふて、決定したる事なく、如此里數定かならざるも、獵場計にて、田畑といふなき事故、境も等閑にて、里數は人々の目分量にて、言事なれば、取用ひがたし、殊に蝦夷地場所々々持場廣く、宗谷場所の内も、南の方テシテ境イキコマナイと言所より、内場所の内、北の方シレドコといふ所迄、凡百十四里半あり、此里數之内は、みな宗谷の持場也、斯持場廣き事故、手行届かず、里數を改る事もなく、中勘相當の里數凡をいふ事也、此度松前より出帆せしより、船中にて空眼見積をも様し、其場所々々へ數往來なしたるものに委しく聞糺し、野帳に付置、宗谷會所迄之道法、松前より行程凡百七十七里と記し得たり、北極出地松前は四十二度、宗谷は四十六度二十三分相減じて、差四度二十三分也、天の壹度は地球皮にては二十九里半強として、里數を積り見るに、松前より曹谷までは、直徑百二十五里餘なり、曹谷は松前より正北に當れ共、路程屈曲あれば、百七十七里と記したるも、遠く失せじと思ふ也、

〔蝦夷島記〕一蝦夷島の廻り、船にて乘廻り候へば、三百里程有之よし、此島南部津輕に向向候、此島の日本より船著を松前と申候、

〔北海道志^二地理〕疆域

北海道ハ北緯四十一度二十五分ヨリ起リ、四十六度廿零分ニ至リ、西經零度一十五分^{奥尻}起リ、東經一十度廿零分ニ至ル、東ハ千島國ニ至リ、群島散布シテ露領東察加ニ對シ、北ハ北見國宗谷海峽ヲ隔テ、露領薩哈唎^{樺太}ニ對シ、南ハ渡島津輕海峽ヲ隔テ陸奥國ニ對シ、西ハ海ヲ以テ限リ、遙ニ滿州地方ニ向フ、東西百二十五里、^{極東}端後志國島牧郡持田岬ニ至ル、東北凡百九十九里、^{極北}端北島國松前郡白神岬ヨリ、^{極南}周圍六百五十里、^{千島}州並島嶼面積五千八百六十方里、^{此地}狭ク、南北長シ、東西凡四五十里ヨリ、^所アリ、南北凡百四五十里ヨリ、^{二百}島嶼西部里許ニ及ブ、幅員ノ大九州ニ比スレバ之ニ過ギ、四國ヲ合スレバ少ク及バズト云